



2006年4月27日

年間10万人以上が参加する国内最大級の市民参加型清掃活動
「ひろえば街が好きになる運動」と「チーム・マイナス6%」の
コラボレーションがスタート

共にチーム員である、環境省とJTの協力が実現

～5/3～4「博多どんたく港まつり」、5/3～5「ひろしまフラワーフェスティバル」から～

JT（本社：東京都港区、社長：本田 勝彦）は、全国各地で展開する市民参加型清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」の会場で、環境省の協力のもと、地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」（<http://www.team-6.jp>）への参加呼び掛けをおこない、会場でアンケートにご協力いただいた方に、買い物時のレジ袋などの削減に役立つ「ひろえば街が好きになる運動」特製エコバッグを差し上げる活動を5月3日から開始します。

「ひろえば街が好きになる運動」は、「『ひろう』という体験を通じて『すてない』気持ち育てたい」という願いを込めて全国各地の皆様と進めており、2004年5月の開始から2006年3月末までに、39都道府県で延べ111回実施し、14万5千人以上の方に参加いただき、活動の輪を広げています。

「チーム・マイナス6%」では、CO₂削減のための具体的な取り組みのひとつとして、「買い物とゴミで減らそう（過剰包装を断ろう／ふるしき、マイバッグ）」を掲げています。チームの一員として、「買い物とゴミで減らそう」の国民への浸透を目指す環境省の思いと、「ひろえば街が好きになる運動」の更なる発展を目指すJTの思いが一致し、双方の活動の補完となり相乗効果が期待できることから、はじめてのコラボレーションが実現しました。

JTは今回の取り組みを通じて、「ひろえば街が好きになる運動」を、街の環境美化のための「ゴミを捨てない」という“気づき”だけでなく、さらに一歩進んで、地球環境のために「ゴミを出さない」という“気づき”を促す活動へと発展させると共に、より多くの皆様が国民プロジェクトである「チーム・マイナス6%」への参加のきっかけ作りをしたいと考えています。

なお、今回からの新しい取り組みは、5月のゴールデンウィーク中に開催される「第45回博多どんたく港まつり」【5月3日（水）～4日（木）】と、「第30回ひろしまフラワーフェスティバル」【5月3日（水）～5日（金）】を皮切りに、全国100カ所以上のイベント会場で実施する予定です。

JTは従来から、グループを挙げて環境問題に積極的に取り組んでおり、「チーム・マイナス6%」へは昨年7月に参加し、クールビズやウォームビズなどの活動を実施しています。

また、地球温暖化防止に向けた取り組みでは、省エネルギー、燃料転換、夜間電力の活用、低公害車の導入などを推進し、10年前に比べ-18%のCO₂排出量削減を達成（2004年度実績）しています。

「ひろえば街が好きになる運動」概要

目的

ゴミを「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育んでいただく。

「チーム・マイナス6%」とのコラボレーション

【従来の活動内容】

イベント会場内に設置する JT ブースで参加証と清掃グッズ（軍手・ゴミ袋）を配布。

イベント会場内のポイ捨てされたゴミを拾って JT ブースにお持ちいただくと、JT オリジナルグッズ（ハンドタオル、携帯灰皿など）をプレゼント。

【2006年5月以降の協働による変更点】

2006年5月より上記に加え、JT ブースで「チーム・マイナス6%」への参加を呼び掛ける「チーム・マイナス6%参加パスカード」を配布。アンケートにご協力いただいた方には、その場で「ひろえば街が好きになる運動」特製エコバッグをプレゼント。

活動実績

開催地... 39 都道府県

回数... 延べ 111 回

参加者数... 14 万 5 千人以上（以上、2004年5月～2006年3月末までの実績）



「ひろえば街が好きになる運動」特製エコバッグ

当リリースは、日本たばこ記者クラブ、東商記者クラブ、レジャー記者クラブにて配布しています。また、環境省が添付資料として、環境省記者クラブ、環境記者会、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、国土交通省建設専門記者会にて配布しております。

<ご参考>

たばこを吸われる方と吸われない方が共存できる社会の実現に向けた JT の取り組み

JT では、“たばこを吸われる方にとっても吸われない方にとっても心地よい社会をつくりたい”という願いのもと、さまざまな取り組みを行っています。

「ひろえば街が好きになる運動」

自治体、学校、ボランティア、各催事の実行委員会、参加団体などとゴミを拾う、市民参加型の清掃運動。2004 年 5 月の開始から 2006 年 3 月末までに、39 都道府県、延べ 111 回実施し、14 万 5 千人以上の方が参加。

2006 年度は全国で 100 回以上の開催を予定。



自治体の協働

自治体や公共交通機関等と協力して、街中や駅、空港、オフィスなどに、喫煙場所を設置。



分煙コンサルティング

公共施設や商業施設、オフィスに対して、各施設の特徴や利用される方々のニーズに応じた「分煙コンサルティング」を実施。



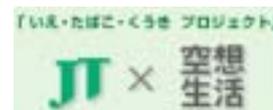
「SMOKERS' STYLE COMPETITION 2006」

たばこを吸われる方と吸われない方が共に快適に過ごせる環境の実現に向けたアイデアや実例を募集(登録・作品提出締切:2006 年 6 月 26 日)。



「いえ・たばこ・くうき プロジェクト」

家のなかの喫煙(分煙)環境のアイデアを一般から公募し、協力デザイナーやメーカーが製品化を目指す。



「SmoCar」

分煙のシンボルとして、移動喫煙スペース「SmoCar(スモーカー)」を全国各地のイベント会場に設置。



詳細は「SMOKERS' STYLE」ホームページ参照

<http://www.jti.co.jp/sstyle/>